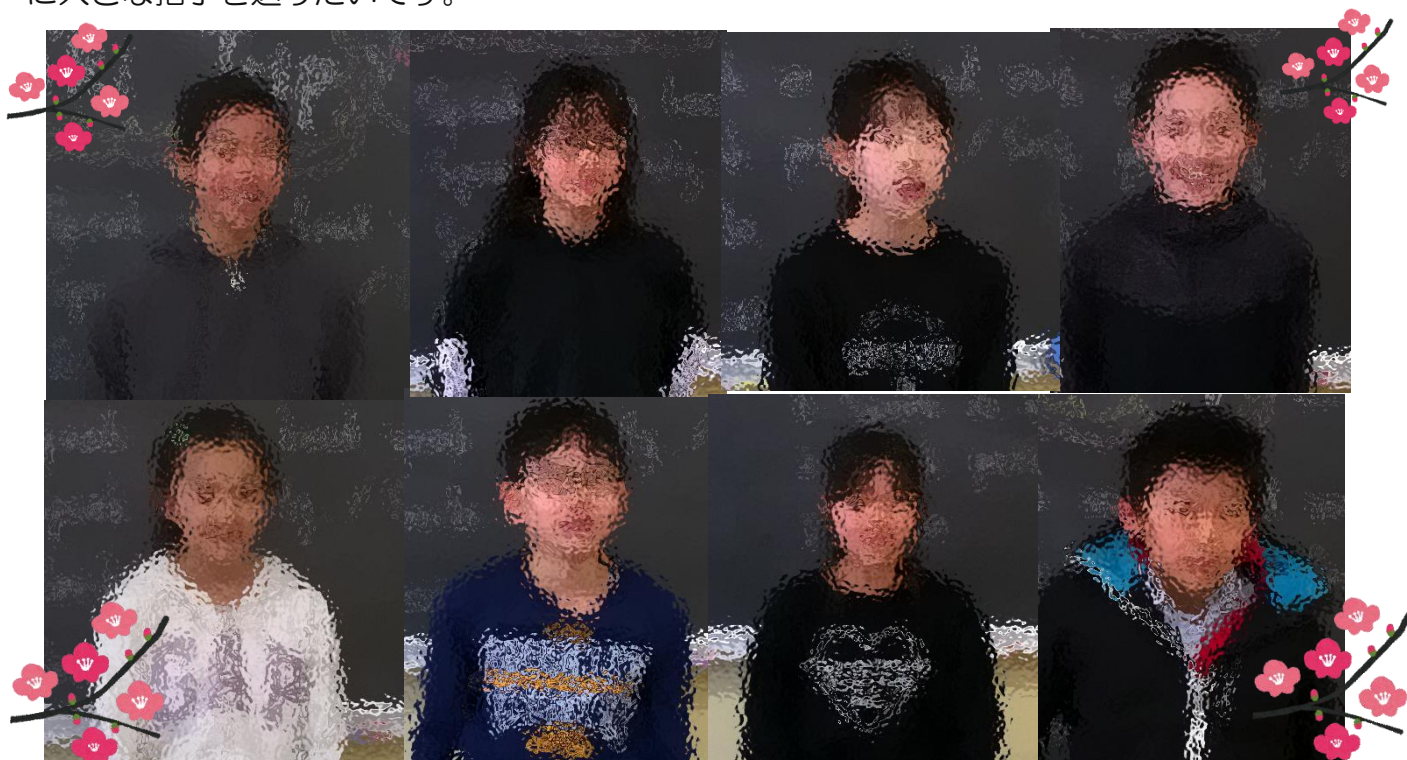




6年生、スキー・スピーチ



先日の5年生と同様、6年生もスキーの感想スピーチをしてくださいました。5年生が100語レベルでしたが6年生は130語レベルのスピーチでした。中学生ほどの長さのスピーチでしたが、さすが6年生！ほぼ全員が1度で合格。また、堂々と余裕のある表情を見て「中学生になるのだなあ」としみじみ感じました。5年生の初めの頃は、アルファベットが読めない子がいたり、皆の前で20語レベル程度の文を読むだけでも顔を真っ赤にしていた子がほとんどでした。いまや130語レベルの文を暗記して、大きな声で発表できるなんて凄い成長！子供たちの努力に大きな拍手を送りたいです。



英語でことわざ

最近、中学部は英語のことわざを暗記しています。目指せ100個！英語のことわざは英語圏で長く言い伝えられてきたため、実は歴史や価値観が詰まっています。実際今でもたくさんの歌や文章に引用されています。

ことわざは厳しい文法ルールに縛られていない分、英語圏で暮らす人々の生活の息吹や知恵に触れることができます。また、表現方法としても非常に便利です。短い文なのに、エッセイや会話に用いることで内容がぴりっとしまり、知性を感じさせることができます。日本語と同じ意味のことわざでも、英語で異なる表現だったりすると、文化的背景を比較できてとても面白いです。

(たとえば「人の噂も七十五日」が英語だと“A wonder lasts but nine days”になります。英語圏の国の人々が忘れるのが早いのか、日本人が覚えていすぎるのか、、、。)

